



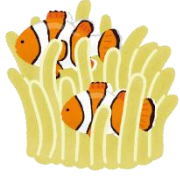
和の玉まるく！

2022(令和4)年
やまとしりつしぶやしやうがっこう
大和市立渋谷小学校

10月号



重点目標 「スマイル100% ~ひびかせよう自分の力→みんなの力~」



子どものなかに見つけていきたい~スマイル100%



9月22日(木)、さわやかな快晴のなか2年生の江の島遠足に行ってきました。遠足の光景、生き生きとした子どもたちの姿を見ると、まだまだ制限はあるものの、校外学習の「よさ」を実感した1日でした。

同時に、キラキラした笑顔で水槽をながめている渋谷小の女の子を見ていて、休日に見た映画がオーバーラップしました。さかなクンの半生を描いた映画「さかなのこ」です。詳しくいってしまうとネタバレになってしまいますので割愛しますが、様々な失敗や挫折を乗り越えて、「おさかな博士」の夢をかなえるという、温かい気持ちになる映画でした。この映画で一貫して描かれていたのが、さかなクンのお母さんの子どもに対する絶対的な信頼です。また、自信を無くしているときには「広い海に出てみなさい」と背中を押します。子どもを盲目に溺愛しているということとも違うのです。ただ勉強以外の特技を見つけられたからよかった、というような単純なことではなく、その子のなかをつらぬく光を見だし、育んだお母さんの生き方が表れていました。

スペインの画家にジョアン・ミロという人がいます。ピカソやダリと並ぶ巨匠ですが、若いころは美術学校で、デッサンが下手で最低の成績だったといわれています。しかし、その時の校長先生がミロの絵を見て「この色使いは、誰にもまねできない」と才能を見出してはげまし、ミロは「絵画を超えた絵画」といわれるまでの画家になります。この美術学校の校長先生も、当時の一般的な美術の見方、評価にこだわることなく、ミロのなかの光を見つけました。まわりとの比較や、順位でものを考えたりせずに、その子のなかの「スマイル100%」になる箇所を見つけたという点ではさかなクンのお母さんと共通しています。

とはいえ、なかなか簡単なことではありません。学習の終わりにはテストがあるし、運動だって、音楽だって、ついでに「できる」「できない」「~位」で判断するのが日常となっています。いよいよ行われる運動会も、まず気になるのは徒競走の順位かもしれません。いやどうして、運動会には演技も、応援も、係も、わずかでも人には見いだせないお子さんだけの「スマイル100%」を見つけられる場面、見つめる時間がたくさんあると思います。ぜひ、運動会当日は学校にいらして、お子さんの姿を見てあげてください。

大人として、子どもの「スマイル100%」を見つめ、伝えてあげることの大切さを感じる秋です。(教頭)

※最新の学校ニュースを渋谷小HP掲載中です。給食日記も継続して載せています。上記QRコードからぜひご覧ください!